



2026

将来にわたって私たち高齢者の拠り所となる組織をつくろう!

年頭挨拶



NTT労働組合退職者の会
福島県支部協議会
会長 伏見 吉弘

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様・ご家族の皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年は、吉川さおりの四選勝利に向け、会の総力を挙げ取り組んでまいりました。

結果は、多くの会員とご家族の皆様のご協力のもと見事当選を果たすことができました。現役組員の退職予定者数は、毎年三

きました会員・ご家族の皆様に改めて御礼を申し上げます。
昨年十月に開催しました第二十七回総会において、私たちの組織運営について以下三点を確認しました。

1. 「会員サービスの原点は地区協にあり」を基本とした組織運営を行う。

2. 今後ますます会員減少が進む中で、どのような組織運営を行うかを数年かけ検討を進める。

3. ジエンダー平等の取り組み強化と中小規模地区協対策のため、これらを兼務する女性副会長を選出し、運動の前進を図る。

今年の私たちの活動は、総会で課題の共有化を図った点について、具体化な取り組みを進めることとします。

会員数のピーク(六月末)は、八人と五年連続減少で百七十三名の減少となりました。現役組員の退職予定者数は、毎年三



第50号

NTT労働組合退職者の会
福島県支部協議会
福島市山下町5-10 TEL.024-534-1144

発行責任者・伏見 吉弘
印刷・陽光社印刷株式会社

十名前後と予想され、退職者の会の自然減を補うことはできません。

会の年齢構成は、八十歳以上七百七十三人、全会員の三十三%、七十歳以下の会員は三百五十六人で全体の十五%です。平均年齢は七十七・二歳となります。

現在の退職者の会会員は、多くの退職者がいた時代の方々に担っていただけであります。今後の退職者の会を担っていただく方々は、小人数で多くの高齢者を抱えた組織運営をお願いすることとなります。

このようなことから、これまでの運動を振り返りながら、今後の組織の在り方や運動の在り方等について組織全体で意見交換を行い、将来にわたって私たち高齢者の生きる拠り所となる組織となるよう取り組みたいと考えておりますので、会員皆様のご協力をお願い致します。

二〇二六年が皆様にとって素晴らしい年となることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といったことです。



福島県議会議員
NTT労組組織重点
立憲民主党副代表
古市 三久



立憲民主党
衆議院議員
NTT労組組織内
岡本あき子



立憲民主党
参議院議員
NTT労組組織内
石橋みちひろ



立憲民主党
参議院議員
NTT労組組織内
吉川さおり

本年もよろしく
お願い申し上げます

新年度の方針決まる

第一回福島県支部協総会報告

この一年の取り組みと、二〇二五年の方針を決定しました。議事に先立ち、司会の石本副会長の発声で、昨年七月から本日まで亡くなられた会員に対しご



提案する菅野事務局長



4選を果たした吉川さおり議員の挨拶



挨拶する伏見会長

冥福を祈つて默祷をささげました。
総会議長にいわき地区協の水野副会長を選出しました。
冒頭、あいさつに立った伏見会長は、①第二十七回参議院選挙結果、②会員減少が進む中での地区協活動のあり方、③女性の活動を広げる場として「女性の会」設置、④新たな交付金を予算化、⑤退職者連合の取り組み、⑥政局について等について述べました。

続いて、中央協議会の中野副会長から挨拶がありました。

次に挨拶に立ったグループ連絡会須田会長は、①常日頃における現・退一致への運動への支援・協力に感謝、②七月に行われた参議院議員選挙への御礼等連帯の挨拶がありました。

次に、来賓各位から、総会の成功を祈念する挨拶がありまし

した「吉川さおり」参議院議員から、退職者の会の支援に対す
る御礼の言葉と、総会の成功を祈念する挨拶がありました。

その後、事務局長から各種議案が提案され、満場一致で承認されました。

続いて、永年役員の表彰があり、いわき地区協の鈴木俊寿会



新副会長に選出された 星 久美子さん



左から永年役員表彰を受けた鈴木(俊)、岡本、
鈴木(茂)の皆さん

地区協議会総会報告

今年も元気に

ガンバロー！



11月17日 福島地区協議会 グリーンパレス 68名参加



11月18日 会津地区協議会 ホテルいづみや 47名参加



11月21日 郡山地区協議会 NTT郡山支店 47名参加

趣味を生かして地域貢献

南相馬地区協議会 本多ゆう子



鈴木事務局長が、本多さんにお会いし、インタビューをお願いしました。

【問】いつもお世話になっております。来年は、年女として新年を迎えるにあたって抱負などお聞かせください。

【答】6回目の年女です。まずは、家族（子供、孫）が健康で過ごすことです。友人や仲間を大切にし、趣味、スポーツを楽しみながら元気に過ごしたいと思います。



【問】これまでの人生を振り返ってみていかがですか。

【答】予想だにしなかった辛い別れがありました。

読書と散歩とウイスキーで元気！

須賀川地区協議会 上野 満男



紺野事務局長が上野さん宅を訪問し、インタビューを行ってきました。

【問】今年で何歳になりますか。

【答】1930年（昭和5年）9月生まれです。今年96歳になります。

【問】健康の秘訣は、何ですか。

【答】毎晩、70mlのウイスキーを氷と水で薄めて飲むこと。また、今まで、薬を飲んだことがないのが自慢でもあります。

それから、足腰強化のため、昔は30分散歩していましたが、今は15分ほど歩いています。ゆっくりなので、何メータかはわかりませんが…

【問】熱中していることは何ですか。

【答】本を読むこと。今、特に藤沢周平の生き方についての本や、池波正太郎の【浮沈】など読むことに熱中していること。それから、夜中の3時の深夜放

それでも子供に守られ、孫、愛犬シューに元気をもらっています。そして、NTTで大事な仲間に出会ったことが大きな財産となりました。



【問】今、熱中していること。日常的に行っていることや趣味などお聞かせください。

【答】週2回のグラウンド・ゴルフを楽しんでいます。半数がNTT 0Bで結成されている45名程のクラブです。趣味は絵手紙です。始めてから10年になります。最近では描くよりもおしゃべりをするために来られる方もおります。どちらも気軽にワイワイと楽しくしております。

【問】今後はどんなことに取り組んでいかれますか。

【答】健康でいる為に仲間と楽しみながら、心と体を大事にしたいと思っています。地域の高齢者の方の見守りやサロンを続けていきたいと思います。それらを続ける中で地域に貢献していきたいと思います。

★本日はお忙しい中お時間をいただきまして有り難うございました。健康に留意され、益々のご活躍を祈念しております。

送【日本の懐かしい曲】を聞くことも楽しみのひとつです。

【問】地域の仲間とやっていることは何ですか。

【答】やっていません。夫婦水入らずです。

【問】今後やってみたい事は何ですか。

【答】そんなことは、考えていないです。当たり前のことですが、夫婦2人暮らせればそれでヨシです。

【問】年男を迎える本年をどのように過ごしたいですか。

【答】病気からないように、毎晩、美味しいウイスキーが飲めるように過ごしていきたい。

【問】今後の人生をどう生きていきたいですか。

【答】健康が1番です。毎日3度の食事が食べられること。お医者さんにかかるないうこと。



【問】買い物は、どうしていますか。

【答】夫婦2人で生活しており、週1回、長男が近くにいるので、女房が買い物に行きます。

★最後になりますが、上野さん本人は耳が聞こえにくいので、早口の私の声が聞きづらかったようですが、ご丁寧に回答して頂き有難うございました。これからも健康で、夫婦仲良くしてください。

❖ 体と心を動かす生活を ❖

福島地区協議会 斎藤 英男



■年齢は大正15年生まれ、令和7年8月で99歳になりました。

■何か体に良いことと言えば、高齢者健康維持の3条件は①筋力、②柔軟性、③心肺能力であり、このことを常に意識して生活しています。

■肉体は食べ物で作られるを考えると、好き嫌いは意識せず何でも食べることにしています。

■昭和20年高等通信講習所に入所、卒業後の配属先は福島郵便局。昭和24年福島電気通信部へ配属となりました。

昭和57年福島電気通信部付けで退職し、「しんしま会館」開設業務に携わりました。昭和58年支配人となり、平成6年に退職しました。

■平成5年厚労省所管(財)健康生きがいづくりアド

バイザーとして10年間普及講演活動で奔走しました。

■町内会活動は昭和61年から平成14年まで携わり、地域活動の重要性を学びました。

■昭和60年にはサンライフダンス愛好会を組織し、会長に就任しました。

■趣味としては短歌、俳句、川柳、書道、古典文学研究、歴史研究、音楽鑑賞と幅広く取り組み、福島市民エール川柳大会では「金賞」を受賞しました。“老いひとり 我を褒めたり 叱ったり”

■長生きの秘訣は「いくつまで生きたいのか」の目標を持つことです。その目標は①本能的な欲求、②金銭欲求、③社会的な欲求です。これらの欲求は困難に遭遇した時にその困難を乗り越える力を發揮します。

■後輩の皆さんには家族を大事にしてほしいと申し上げたい。特に奥様に対しては、日頃の感謝の気持ちをきちんと声に出して伝えてほしい。

★斎藤修一事務局長がご自宅を訪問しました。素晴らしい人生訓を拝聴し、私達に良いお手本を示して頂いたことに感銘を受け、逆に励されました。これからもどうかお元気にお過ごしください。有難うございました。

この人にスポット

❖ 多趣味で充実した毎日 ❖

二本松地区協議会 斎藤 カツ



白寿を迎えた二本松市内に住む斎藤カツさん宅を訪ね、お話を伺いました。

現在、同居している息子さん夫妻も同席され、共に色々とお話を聞く事ができました。

家族みんなで日常生活を大事にしている様子を伺い、健康で長生きするヒントが、ここにあるように思われました。

■就寝は9時・起床は7時と規則正しい生活

■3食、好き嫌いなく食べ、食後にヤクルト・オロナミン・牛乳のいずれかを飲みます。

■退職後に始めたという数々の趣味はすばらしい腕前、自作の木目込み人形・絵手紙等を部屋に飾られ、俳句は80歳時に自費出版されています。



■今の楽しみの一つは、お孫さんがプリントアウトしてくれる2枚のドリル(脳トレ)を毎日行い採点してもらう事。また、大の相撲ファンです。

■電話局時代に自動運用課に所属し、東和交換所のデータ撮影後に花見ができた事や、仕事に行った時にお見合い話をされた事(笑)等エピソードを伺いました。

■家族の方から、家でちょっとした事から転び大腿骨骨折をし、手術後リハビリを頑張り、前より機能回復している事は驚きました。昔から身体が強く、今も食欲旺盛です。夫を早く亡くし、若い頃苦労した分、人生後半は楽しんで過ごしてほしいです。本人が施設を希望していないので、今後もみんなで頑張りたいですと伺いました。

■最後に、和やかな雰囲気でのインタビュー取材となり、ご協力を頂き有難うございました。

カツさんが息子さん夫婦や孫さんにとても大切にされている様子が伝わってきました。素敵な気持ちを沢山いただき、有難うございました。





バードカービングとは木彫り鳥のこと、鳥の偽物です。通称（デゴイ）。

今、作成している鳥は、「トラツグミ」です。この鳥は体色が茶色・黒・白の三色で、トラの模様のツグミを作成中です。最初の作業は、最低三方向からの下絵を雑誌やインターネットを見て書いています。背中の写真や正面からの物を探し出すことは難しいことから、おおよそのなりで書き上げます。これが出来れば彫り工程に移ります。

自己満足の世界なので、似ているか似ていなかは別として、愛おしい作品になります。

現在はまだ下地の白です。胸の虎模様が難しく手が出ません。

私のバードカービング

福島地区協議会
佐久間 好治



会津地区協議会
鈴木 寿彦

農作業は苦労の連続！

会津地区協議会

鈴木 寿彦

NTTを退職して早八年、アッといふ間に過ぎた気がする。現役時代は組合の役員をやつていたり、地区的役員もやつたりもしていました。また、家は農業をしていました。現在はまだ下地の白です。胸の虎模様が難しく手が出ません。

今年は玉葱が病気で全滅、トマトは一段目のみ収穫でき、後はほぼ全滅、野菜作りの難しさを感じた一年でもありました。更に米も今年はあまり採れず、肥料や農薬代の高騰で厳しい状況です。しかし、世間では米の高騰が話題となっていますが、今後の米作りがどうなるのか、不安に感じているのが実情です。

民謡は生活の中から生まれたものであり仕事唄、祝い唄等多岐にわたります、又、伴奏のための三味線・尺八等の和楽器の音も良いものです。この間四十五年以上になり、年功序列的にいわき市内の民謡の会の会長、いわき市内の三百五十団体、四

トラツグミはヌエとも言われます。金田一耕助の悪靈島で「鶴の鳴く夜は恐ろしい」で有名なヌエです。トラツグミは夢中になり、昼ご飯を忘れることもしばしば有ります。妻から「ご飯食べてないの」の声かかる。

鶴の声 居間からのこえ 恐ろしい

また、父が亡くなつてからの農業は苦勞も多くて、『生きているうちに色々聞いておけばよかつた』と思つたりもしました。近年は筋力も落ち、農機具は動かしても力作業は半日が精一杯、三十キロの米も重いと感じる今日この頃です。



いわき地区協議会
會川 和美

民謡普及に奔走

昭和五十三年、職場の仲間の結婚祝いを実行委員会で行った

千二百名の文化団体の会長も仰せつかつて文化祭りなどを主催し、市民文化祭等いわき市行事の中心として活動をしています。個人的には足跡を残すべく地元「いわきの民謡」三十七曲をレコードで歌い、最終校正段階にあたり、本年末には完成の予定です。

趣味の多様化・少子高齢化が進み、民謡に親しむ人も減少傾向にあります。しかし、残された時間を声の続く限り頑張つてみたいと思うこの頃です。



（相馬岩の子）十二時到着。最大のイベントである昼食懇親会。晴風荘で楽しめました。

そして道の駅ふくしまを経由して、無事十八時に帰着。良かつた良かつた楽しかった！ぜひ来年度も開催してという皆さんから感想要望が。コミュニケーションを深め合つた日帰りのバス旅行でした。

十一月五日(水)秋晴・快晴・紅葉ばっちりでした。浜の駅松川浦、



三人とも甘い優勝賞品（くだもの）を貰つてすごく喜んでいました。

七時四十五分、四十二名を乗せた大型バスでR2-88で双葉町原子力災害伝承館に。目玉の大型スクリーンは故障のため、ナレーションも、迫力ある映像も見られませんでした。

郡山地区協議会として結成以来、初めてのバスによる日帰り旅行を行いました。

郡山地区協議会
事務局長 山ノ井茂喜

初めてのバス旅行 存分に楽しむ

地区協だより



インドア競技大会で奮闘
三春地区協議会
事務局長 青柳 幸治



十月一日、十三名の参加をいただき、四チームに分かれて優勝を目指しました。ボッチャ、スカットボール、新規にモルックを取り入れました。一、二十二までの数字が記載されている二本の棒（スキットル）を立てて、モルックと呼ばれる棒を投げ、スキットルを倒して点数を競います。ボッチャとスカットボール終了時点で四チームが並びました。モルックで四チーム順番に投げて、チーム合計五十点を目指していました。

二試合行いましたので、BとCチームが勝つて再度スカットボールで勝敗を決してもらい、結果はBチーム（佐藤久美さん、渡辺経子さん、安藤惣一さん）が十八対十四で優勝に輝きました。

三人とも甘い優勝賞品（くだもの）を貰つてすごく喜んでいました。

國宝迎賓館赤坂離宮 と小江戸川越街並み 散策の旅

いわき地区協議会

副会長
磯崎セツ子



去る、十一月六日にいわき地区協恒例の日帰り旅行が実施され、総勢三十三名で日本のベルサイユ宮殿と称される、国宝の迎賓館赤坂離宮と、時の鐘で有名な小江戸川越に行つてきました。

迎賓館は前回賓客があり、急遽休館で行けなかつた場所であり、今回

はリベンジです。

最初に迎賓館を目指しましたが、首都高で渋滞にはまり、遅れて到着しました。

先ず、噴水のある主庭から見学し、創建当初からある青銅製で、国宝の噴水の力強さに圧倒されました。周りを彩るマリーゴールドもとても綺麗でした。

それからいよいよ、日本で唯一のネオ・バロック様式の本館に入りました。私は二度目でしたが、今回も美しさに目を奪われ、別世界を感じました。



筆者の磯崎さん(左側)

り、迎賓館を後にしました。

きました。ふつくらしてとても美味しかったです。その後、時の鐘や蔵造りの街並みをそれぞれ散策しました。ここも外国人が多く、日本人ではない若い男女のグループが、着物を上手に着こなしている姿には驚きました。当初雨の心配もありました。が降ることもなく、全ての行程を無事に終えて帰路に着きました。

日常生活の中で大切なことに「三
べる」があるそうです。一は食べる
(食事)、二は喋る(話す)、三はト
ラベル(旅行)です。旅行は歳を重
ねると色々身体に不都合が出てきて
なかなか難しいですが、そんな中で
も、家族や友人達と旅をすること大
いに楽しみ、笑顔の想い出づくり
をしてみて
はいかがで
しょうか。

《独り言》

集合写真には私は書いていません。何故せん。何故ならお花揃み？に行つてましたので…残念？



無料法律相談を利用しましょう

希望される方は事前に下記の県支部協に予約をお願いします。

電話：024-534-1144



NTT労組顧問弁護士の佐々木廣充さんが対応します。遠方の方はお電話でも相談出来ますので、お申し出ください。

電通共済生協からお知らせです

電通生協等掛金3回未収者の運用が変更になります。今年度は、11月に引き落とし出来なかった組合員に対し、12月に掛金支払い案内が発送されます。(同様に12月末納者は1月に)

2月に引き落とし出来なかつた方の自宅へ「契約失効通知」が送付されます。

なお、未収者リストに基づき、1月に電話連絡いたします。
口座の残高の確認をお願いします。



感謝を込めて 古希・喜寿・米寿の御祝

「古希・喜寿・米寿」を迎えた皆様に、心からお祝い申し上げます

—7月—

【古 希】

- ❖ 福島 阿部 厚
菅野 剛夫
齋藤 洋子
菅原 敏幸
本多 保一
- ❖ 二本松 熊谷 通隆
渡辺 栄二
- ❖ 郡山 大野 博之
水野 栄次
- ❖ 会津 石村 吉男
いわき 小林 博子

【喜 寿】

- ❖ 福島 菊田 政信
横田 年生
- ❖ 二本松 菅野 幸子
郡山 植田 富好
- ❖ 保科 一男
舞木 洋子
- ❖ 須賀川 渡辺 喜市
会津 遠藤 政儀
- ❖ いわき 加澤美江子
金成 陽子
- ❖ 南相馬 竹島 泉
郡山 朝倉 照子

【米 寿】



—8月—

【古 希】

- ❖ 福島 三瓶 弘成
会津 渡部 淳
いわき 能松 宜子

【喜 寿】

- ❖ 須賀川 佐藤 恵子
白河 井田 光男
鈴木 正市
- ❖ 三春 山崎 哲子
会津 土橋 正幸
- ❖ いわき 小野いみ子
工藤 朝明
坂本 守
柴崎 好信

—米寿—

【米 寿】

- ❖ 南相馬 岡田善二郎
二本松 菅原ノリ子
須賀川 山内キチ
いわき 大須賀昌雄
横田登喜子



—9月—

【古 希】

- ❖ 郡山 斎藤 信行
佐藤 博志
- ❖ 白河 釜田 正之一郎
会津 越智 良一
- ❖ 郡山 舘山 良文
- ❖ 南相馬 千葉 實
- ❖ 福島 安孫子洋子
遠藤 文専
- ❖ 二本松 佐藤ヒサ子
郡山 千葉 好博
- ❖ 須賀川 橋本 芳子
石川 橋本 幸雄
- ❖ 石川 真弓 利子
会津 安西 久子
- ❖ いわき 賀澤ケイ子
鮎川 正夫
- ❖ 須賀川 橋本 健二
郡山 千葉 富澤 文博

【米 寿】

- ❖ 福島 伊藤 守
郡山 関根 フキ
いわき 斎藤 廣子



—10月—

【古 希】

- ❖ 二本松 橘 仁

—郡山—

【米 寿】

- ❖ 大川原敏幸
真壁 明夫

—会津—

【喜 寿】

- ❖ 栗城 英晴
吉川 隆司

—いわき—

【喜 寿】

- ❖ 加藤 政子
遠藤 節子

—二本松—

【喜 寿】

- ❖ 田中 政実

—郡山—

【喜 寿】

- ❖ 近内 久子
佐藤 光正

—会津—

【喜 寿】

- ❖ 松本トミ子
大竹 芳江

—いわき—

【喜 寿】

- ❖ 鈴木 秀人
新田美津子

—相馬—

【喜 寿】

- ❖ 阿部 勝善

—石川—

【喜 寿】

- ❖ 大楽ミツ子

—白河—

【喜 寿】

- ❖ 松川 紀子
小松 順二

—会津—

【喜 寿】

- ❖ 平野 啓
星 久美子

—いわき—

【喜 寿】

- ❖ 渡部 陽子
鈴木 俊寿

—郡山—

【喜 寿】

- ❖ 山田 京子

—三春—

【喜 寿】

- ❖ 木村 玲子

—いわき—

【喜 寿】

- ❖ 手島ムツミ



—12月—

【古 希】

- ❖ 福島 牛坂 好孝

—郡山—

【古 希】

- ❖ 斎藤 高橋 幸一

—白河—

【古 希】

- ❖ 六車 本田 昌子

—石川—

【古 希】

- ❖ 鈴木 青柳 幸治

—三春—

【古 希】

- ❖ 木村 松本 一雄

—いわき—

【古 希】

- ❖ 水野 幸彦

【喜 寿】

- ❖ 福島 佐藤 美知子

—郡山—

【喜 寿】

- ❖ 高橋 修

—白河—

【喜 寿】

- ❖ 佐藤 恵美子

—会津—

【喜 寿】

- ❖ 田部 一康

—いわき—

【喜 寿】

- ❖ 野川 賢二

—白河—

【喜 寿】

- ❖ 佐藤 洋子

—会津—

【喜 寿】

- ❖ 小坂 政敏

—いわき—

【喜 寿】

- ❖ 草野 栄一

—相馬—

【喜 寿】

- ❖ 松田 栄一

—二本松—

【喜 寿】

- ❖ 篠山 三枝子

—福島—

【喜 寿】

- ❖ 佐藤 勝子

—郡山—

【喜 寿】

- ❖ 佐藤 日出子

—二本松—

【喜 寿】

- ❖ 大島 陽子



—11月—

【古 希】

- ❖ 福島 小山 智子

—郡山—

【古 希】

- ❖ 渡辺 利明

—白河—

【古 希】

- ❖ 鈴木 吉仲

—会津—

【古 希】

- ❖ 菅家 国男

—いわき—

【古 希】

- ❖ 吉田 英一

—福島—

【喜 寿】

- ❖ 阿部 義則

—二本松—

【喜 寿】

- ❖ 五十嵐 進

—郡山—

【喜 寿】

- ❖ 尾崎 德壽

—白河—

【喜 寿】

- ❖ 菅野 久子

—会津—

【喜 寿】

- ❖ 須藤 盛夫

—いわき—

【喜 寿】

- ❖ 柴田 哲夫

—二本松—

【喜 寿】

- ❖ 丹治 喜作

—郡山—

【喜 寿】

- ❖ 土田 和久

—白河—

【喜 寿】

- ❖ 荒川 喜作

—会津—

【喜 寿】

- ❖ 尾久 和久

—いわき—

【喜 寿】

- ❖ 渡辺 恵子